



設定

尚をいじめから助けていた晃一が、尚にはめられ新たないじめの標的にされるお話「いじめの定義」。番外編では晃一たちの担任教師をメインとしてストーリーを展開しています。

登場人物

小島 誠一(こじま せいいち)28 歳 体育教師

晃一達の担任で男らしい、まっすぐな性格。

佐藤 晃一(さとう こういち)17 歳 野球部・三年

いじめを見過ごせず尚を助けていたが、その尚にはめられ黒田の犬におちた。尚の中学からの同級生。恥虫(ハジチュー)という名で呼ばれている。

黒田 了(くろだ りょう) 17 歳 野球部・三年

支配欲が強く、弱い立場の人間を見下す。晃一の正義感を「偽善」だと嫌っていた。いじめていた尚を利用し、晃一を言いなりの下僕にした。

佐々木 俊樹(ささき としき) 17 歳 サッカー部・三年

黒田の友人。いじめに加担している。

三浦 尚(みうら なお) 17 歳 帰宅部

体が細く、運動は苦手。自分の意見をはっきり言えない。晃一を罠にはめ、黒田の下僕とするのに協力し、後に自主的に晃一をいじめている。

変化

チャイムが鳴り終わった直後の教室には、独特のざわめきが残っている。笑い声や椅子を引く音、誰かが机を叩く乾いた響きが、あちこちで途切れながら続いていた。

机の上は整然としているものもあれば、教科書とノートが山のように積まれているものもある。制服の着こなしもまちまちで、きちんとネクタイを締めた生徒の隣で、シャツの裾を出したままの生徒がだらしなく座っている。

教室の後方では、数人が集まって何かを覗き込み、抑えきれない笑いを爆発させている。一方、窓際の席では、外の校庭をぼんやり眺めながら、肘をついて考え事をしている生徒もいる。

普通ならただの日常、、、しかし、そのぼんやりとしている生徒が佐藤晃一だというのが小島はひっかかっていた。今までならクラスメートに囲まれて、皆と笑い合っているイメージしかない。それが、ここ最近の佐藤は元気がなく、いつもぼんやりと何か考え事をしている。心配になり、話を聞こうと呼び出しても、「何でもないです。」の一点張り。あの佐藤に限っていじめなんてことはないだろうが、、、妙な胸騒ぎがしていた。

そんなとき佐藤から「相談したい。」と呼び出された。ようやく話してくれる気になったかとほっとした小島。人に見られたくないとの理由で体育倉庫で話したいとの佐藤の要望を受け入れ、小島は体育倉庫に向かった。

「佐藤、いるか？、、、！？」

そこには黒のビキニタイプの水着を履いた佐藤が立っていた。

「おい、佐藤なんでそんな格好しているんだ？」

「先生、、、俺、、、先生のこと、、、。」

佐藤はいきなり小島に抱き着いてくる。

「おい、佐藤、、、やめるんだ、、、俺は、教師でお前は生徒だ、こんなこと許されない、、、。」

佐藤の肩をつかみ、自分から引き離す小島。まじめで、正義感があって、まっすぐで、、、そしてカッコいいし、かわいい、、、そんな佐藤が自分に迫ってきたことに小島は内心あせっていた。

「おれ、、、我慢できないんです、、、。」

そう言いながら、その黒の水着の股間をさする佐藤。佐藤の股間はよくよく見ると、肥大化し、その水着を苦しそうに何度も押し上げている。

「さ、、、さとう、、、お前、、、本当に、、、。」

「先生、、お願いします、、俺、、だれにも言わないし、、迷惑かけませんから、、、。」

「な、、何を言っているんだ、、やめるんだ佐藤。いつものお前に戻れ。こんな間違っている、、、。」

佐藤は履いている水着を脱ぐと、そのいきり立ったパイパンのペニスを堂々とさらしてくる、、、その先はその欲情を示すように液体があふれだし、光っている。

(すごい、、これが佐藤の、、、高校生なのになんて立派なんだ、、、、)

それについつい見とれているとすかさず、佐藤が抱き着いてくる。その股間を自身の足におしつけながら、力いっぱい小島を抱きしめる。そして、佐藤はその片方の手で小島の下半身を鷲掴みにし、小島のそれも佐藤と同じように硬くなっていることを確認する。

(くう、、さわられている、、佐藤に、、勃起しているのが、、ばれちゃった、、く、、。)

佐藤はその勢いのまま、その端正な顔を小島の顔に近づけ濃厚なキスをする。

ちゅぱあ、、ぶちゅうう、、ちゅう、、ちゅぱあ、、ぺろぺろぺろ、、。

その積極性に飲み込まれ、理性のタガが外れていき、小島も舌をからめはじめる。

「先生、、ごめん、、、、。」